

今週は児童の欠席が目立った。多い日は全校で13人ほどが「のどの痛み・せき」の症状で欠席し、連続して3日以上、症状が治まらずに休んだ児童も複数名いた。急に気温が下がり、空気も乾燥してきた上、各教室は24時間換気システムを稼働し、対角線上の窓・扉も開けての常時換気をしての暖房ヒーターである。加湿器2台と濡れタオル程度では、湿度はなかなか上がらない。授業中の防寒着着用や水筒での水分補給を勧めているが、例年なら「うがい」をさせるところを「飛沫防止」のために、制限しており、のどは乾燥しがちだ。今、校長室も湿度は20%を切っており、私もマスクとお茶で「のどの乾燥」を防ぎ、定期的に手洗い・手指消毒をしている。

毎年、冬季は「インフルエンザ」「ノロウイルス」を心配しているが、今年は「新型コロナウイルス」も加わる。どの疾病においても、対策は、こまめな「手洗い」「手指消毒」「マスク着用」に変わりはない。子供たちは、今年一年間で、校内でのこれらの行動は当たり前になっているので、逆に感染リスクは例年より低いのではないかとも思える。

年末・年始は、行事や会食の機会も多くなる。学校からお願いするのは「筋違い」なのは承知の上で「多人数での飲食を伴う集まり」には、重々、気を付けたいと思う。ワクチン接種の始まった国も出てきたが、日本の子供たちに集団接種が行われるまでは、まだ時間がかかるだろう。

自衛して「時間稼ぎ」をしたいものである。